

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和7年6月18日(2025.6.18)

【国際公開番号】WO2024/029529

【出願番号】特願2024-539172(P2024-539172)

【国際特許分類】

C 1 2 P 21/02(2006.01)

C 0 7 K 14/78(2006.01)

C 1 2 N 15/12(2006.01)

C 1 2 N 15/63(2006.01)

C 1 2 N 15/62(2006.01)

C 0 7 K 19/00(2006.01)

C 1 2 N 5/10(2006.01)

A 2 3 L 33/17(2016.01)

A 6 1 K 38/39(2006.01)

A 6 1 L 27/24(2006.01)

A 6 1 K 8/65(2006.01)

A 6 1 Q 19/00(2006.01)

A 6 1 P 17/02(2006.01)

A 6 1 P 17/00(2006.01)

A 6 1 P 9/00(2006.01)

A 6 1 L 27/60(2006.01)

A 6 1 L 27/50(2006.01)

A 6 1 L 27/38(2006.01)

A 6 1 L 29/00(2006.01)

A 6 1 K 36/81(2006.01)

【F I】

C 1 2 P 21/02 C Z N A

C 0 7 K 14/78

C 1 2 N 15/12

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 15/62 Z

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 5/10

A 2 3 L 33/17

A 6 1 K 38/39

A 6 1 L 27/24

A 6 1 K 8/65

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 L 27/60

A 6 1 L 27/50 3 0 0

A 6 1 L 27/38 1 2 0

A 6 1 L 29/00

A 6 1 K 36/81

【手続補正書】

【提出日】令和5年12月1日(2023.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) プロコラーゲンをコードする核酸構築物を含む植物体または単離された植物細胞を準備する工程；

B) 植物体または単離された植物細胞において、プロコラーゲンを一過性に発現させる工程；

C) 工程Bにより細胞外に分泌されたプロコラーゲンまたはコラーゲンを分離する工程；

を含む、植物体または単離された植物細胞からプロコラーゲンまたはコラーゲンを産生する方法。

【請求項2】

工程Bの後に、細胞外に分泌されたプロコラーゲンのN末端またはC末端を切断する工程を含む、請求項1に記載の植物体または単離された植物細胞からプロコラーゲンまたはコラーゲンを産生する方法。

【請求項3】

前記核酸構築物が、天然型のプロコラーゲンに対して80%以上のアミノ酸配列同一性を有するプロコラーゲンをコードする核酸配列を含む、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

前記核酸構築物が、プロコラーゲン全長をコードする核酸配列を含み、プロコラーゲンのN末端が植物細胞内で切断されないような変異を有している、請求項1または2に記載の方法。

【請求項5】

請求項1または2に記載の方法により産生された、プロコラーゲンまたはコラーゲン。

【請求項6】

請求項1に記載の方法において用いられる、プロコラーゲンまたはコラーゲンを発現する核酸構築物。

【請求項7】

請求項6に記載の核酸構築物を含む発現ベクター。

【請求項8】

請求項6に記載の核酸構築物または請求項7記載の発現ベクターを含む植物体または単離された植物細胞。

【請求項9】

請求項6に記載の核酸構築物のコードするプロコラーゲンまたはコラーゲンであって、非天然型アミノ酸配列を有するプロコラーゲンまたはコラーゲン。

【請求項10】

N末プロ領域に、異種ペプチドが融合されている、請求項9に記載のプロコラーゲンまたはコラーゲン。

【請求項11】

請求項1または2に記載の方法により産生された、プロコラーゲンまたはコラーゲン、または請求項9もしくは10に記載のプロコラーゲンまたはコラーゲンを含む、医薬組成物、化粧品組成物、または食品組成物である組成物。

10

20

30

40

50